

2018年4月

4月の安全行事・暦

・春の全国交通安全運動（6日～15日）



今月の呼点

- 安全速度を意識して運転しよう
- 右左折時、オーバーハングを意識しよう

交通安全重点目標

基本とは、無理なし 無駄なし 危険なし



子どもの動きに注意しよう



勤務時間と乗務時間の設定

ポイント

- 事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息の時間が十分に確保できるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び乗務時間を定めなければならない。
- 運行管理者は、事業者が定めた勤務時間・乗務時間の範囲内で乗務制を作成し、これに従って、運転者を事業用自動車に乗務させなければならない。



改善基準告示

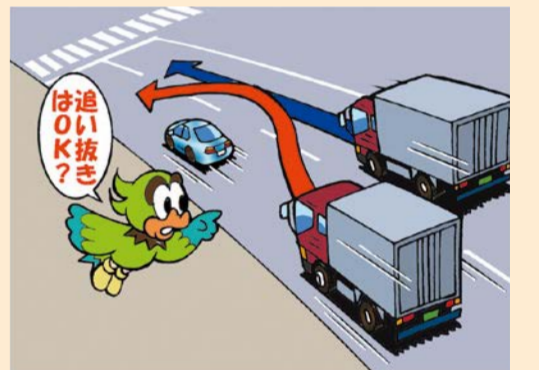
拘束時間	基本	1か月について293時間以内 1日については13時間
	最大拘束時間	1日 最大16時間
	特例	2人乗務の場合 1日 最大20時間 隔日勤務の場合 2日 最大21時間
休息時間	基本	勤務終了後、継続8時間以上
	分割する場合	1日において、1回4時間以上で合計が10時間以上
	特例	2人乗務の場合 4時間まで短縮できる。 隔日勤務の場合 勤務終了後、継続20時間以上
運転時間	最大運転時間	2日平均で1日9時間を超えないこと 2週間で1週につき44時間を超えないこと
	連続運転時間	4時間を超えないこと

月間 P.D.C.A サイクル (2018年4月)



交通安全〇×クイズ

Q 横断歩道の手前から30m以内の場所では、軽車両を除く他の車の追越しは禁止されているが、追抜きは禁止されていない。〇か×か。



解答はカレンダー下部にあります

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
1 大安 明日に向け 仕事を見直す目と勇氣	2 赤口 出せるスピード出さない心 心のゆとりで安全運転	3 先勝 安全を 優先 率先 まず実践	4 友引 アツ危い そのスピードが 死を招く	5 先負 清明 つい一杯 飲めば車も 千鳥足	6 仏滅 運転中 メールひと文字 事故一生	7 大安 飛ばす程 上手と思う 下手な君
8 赤口 一人ひとりが責任もって つくる健康 笑顔の職場	9 先勝 見たときではもうおそい 見えない危険に要注意	10 友引 慣れた作業に危険がいっぱい 心ひきしめ安全確認	11 先負 ブレーキは早目に スピードは控え目に	12 仏滅 その命 愛とベルトで 守ります	13 大安 パパやめて 脇見、携帯、飛ばし過ぎ	14 赤口 むかしむかし亀さんは ゆっくり走って勝ちました
15 先勝 元気で帰宅 ねぎらう笑顔 職場と家庭の安全リレー	16 先負 あなたも私も出来るはず ゆとりとマナーの安全運転	17 仏滅 安全確認 再チェック ハイテク時代もあなたの目	18 大安 飲酒運転 叱る友こそ 真の友	19 赤口 あつあぶない メール見るより 前を見る	20 先勝 穀雨 スタートは ベルトのカチャリ 聞いてから	21 友引 歩行者に ゆずる車に 事故はなし
22 先負 検診受けて 企業を支える 元気なからだ	23 仏滅 ホラ そこに 子ども 自転車 おとしより	24 大安 小さなヒヤリは危険の合図 今すぐ改善 ゼロ災職場	25 赤口 余裕だよ そんな油断が 事故のもと	26 先勝 まずゆとり 車間距離にも ころころにも	27 友引 ゆずろうよ みんなもいつかは 高齢者	28 先負 事故ゼロも 小さな注意の 積み重ね
29 仏滅 昭和の日 しあわせな 家庭を築く 健康管理	30 大安 振替休日 カッとする 心の動きが 事故のもと	1	2	3	4	5



5月 (2018年)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

わが社の安全方針

「安全」は、すべてに優先する

安全方針に基づく目標

事故0件

わが社の輸送安全に関する目標の達成状況/事故統計

目 標	結 果	目標達成状況
人身事故	件 今月 件	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成
物損事故	件 今月 件	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成
交通違反	件 今月 件	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成

【交通安全〇×クイズの答え】 × 横断歩道の手前から30m以内の場所では、追越しも追抜きも禁止されている。(道交法第38条第3項)

作製：一般社団法人 京都府トラック協会
協力：陸上貨物運送事業労働災害防止協会 京都府支部